

# 中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（2024年4～6月期実績、2024年7月～9月期見通し）

## 1 県内商工会地区における産業全体景況

### 産業全体は売上額D I、資金繰りD Iとも好転、採算D Iは上昇

今期の産業全体の景況は、売上額D Iが5.1となり対前期比で13.6ポイント好転、資金繰りD Iも△2.3となり対前期比で15.9ポイント好転した。































採算D Iは△11.8となり対前期比で11.4ポイント上昇した。

次期の産業全体の景況は、売上額D Iは悪化、採算D Iと資金繰りD Iはともに上昇の見通しである。

### 産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

・売上額D I	5.1（対前期比 13.6 好転）	次期予想	0.0（対前期比 △5.1 悪化）
・採算D I	△11.8（対前期比 11.4 上昇）	次期予想	△8.5（対前期比 3.3 上昇）
・資金繰りD I	△2.3（対前期比 15.9 好転）	次期予想	△1.7（対前期比 0.6 上昇）

### 産業全体景況天気

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2023年7月～9月		0.0 		△25.2 		△8.9 
2023年10月～12月		△6.2 		△24.7 		△7.9 
2024年1月～3月		△8.5 		△23.2 		△18.2 
2024年4月～6月		5.1 		△11.8 		△2.3 
2024年7月～9月 （見通し）		0.0 		△8.5 		△1.7 

## 2 業種別景況

### (1) 製造業

#### 製造業は売上額D Iが上昇、採算D Iと資金繰りD Iがともに好転































製造業では、売上額D Iが△2.8となり、対前期比で3.2ポイント上昇した。採算D Iが△11.1となり、1.0ポイント好転、資金繰りD Iも0.0となり、対前期比で18.2ポイント好転した。

次期は、売上額D Iと資金繰りD Iがともに悪化、採算D Iが横ばいの見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △2.8 (対前期比 3.2 上昇) 次期予想 △13.9 (対前期比 △11.1 悪化)
- ・採算D I △11.1 (対前期比 1.0 好転) 次期予想 △11.1 (対前期比 0.0 横ばい)
- ・資金繰りD I 0.0 (対前期比 18.2 好転) 次期予想 △5.5 (対前期比 △5.5 悪化)

#### 製造業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2023年7月～9月		△11.1 		△25.0 		△16.6 
2023年10月～12月		△8.4 		△8.3 		△16.6 
2024年1月～3月		△6.0 		△12.1 		△18.2 
2024年4月～6月		△2.8 		△11.1 		0.0 
2024年7月～9月 (見通し)		△13.9 		△11.1 		△5.5 

## (2) 建設業

### 建設業はすべての指標で好転































建設業では、売上額D Iが△8.0、採算D Iが△28.0、資金繰りD Iが△4.0となり、対前期比でそれぞれ26.8ポイント、22.0ポイント、17.7ポイント好転した。

次期は、売上額D Iと採算D Iと資金繰りD Iのすべての指標が上昇の見通しである。

### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △8.0 (対前期比 26.8 好転) 次期予想 0.0 (対前期比 8.0 上昇)
- ・採算D I △28.0 (対前期比 22.0 好転) 次期予想 △8.0 (対前期比 20.0 上昇)
- ・資金繰りD I △4.0 (対前期比 17.7 好転) 次期予想 0.0 (対前期比 4.0 上昇)

### 建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
2023年7月～9月		△4.0 		△8.0 		12.0 
2023年10月～12月		△24.0 		△44.0 		△8.0 
2024年1月～3月		△34.8 		△50.0 		△21.7 
2024年4月～6月		△8.0 		△28.0 		△4.0 
2024年7月～9月 (見通し)		0.0 		△8.0 		0.0 

### (3) 小売業

#### 小売業は売上額D I、採算D Iがともに上昇、資金繰りD Iが好転
















小売業では、売上額D Iが $\Delta 0.0$ 、採算D Iが $\Delta 11.1$ となり対前期比でそれぞれ7.2ポイント、3.1ポイント上昇した。資金繰りD Iは $\Delta 6.6$ となり、対前期比で5.3ポイント好転した。

次期は、売上額D Iが悪化、採算D Iと資金繰りD Iがともに上昇の見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 0.0 (対前期比 7.2 上昇) 次期予想  $\Delta 6.7$  (対前期比  $\Delta 6.7$  悪化)
- ・採算D I  $\Delta 11.1$  (対前期比 3.1 上昇) 次期予想  $\Delta 6.7$  (対前期比 4.4 上昇)
- ・資金繰りD I  $\Delta 6.6$  (対前期比 5.3 好転) 次期予想 0.0 (対前期比 6.6 上昇)

#### 小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	数値	天気	数値	天気	数値
2023年7月～9月		$\Delta 17.4$ ↓		$\Delta 34.8$ ↓		$\Delta 15.3$ ↗
2023年10月～12月		$\Delta 10.9$ ↗		$\Delta 19.6$ ↗		$\Delta 8.7$ ↗
2024年1月～3月		$\Delta 7.2$ ↗		$\Delta 14.2$ ↗		$\Delta 11.9$ ↓
2024年4月～6月		0.0 ↗		$\Delta 11.1$ ↗		$\Delta 6.6$ ↗
2024年7月～9月 (見通し)		$\Delta 6.7$ ↓		$\Delta 6.7$ ↗		0.0 ↗

## (4) サービス業

### サービス業は売上額D I と資金繰りD I がともに好転、採算D I が上昇































サービス業では、売上額D I が16.9となり、対前期比で18.4ポイント好転した。採算D I が△7.0となり、対前期比で18.3ポイント上昇した。資金繰りD I が0.0となり、20.9ポイント好転した。

次期は、売上額D I、採算D I、資金繰りD Iともすべての指標で悪化する見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 16.9 (対前期比 18.4 好転) 次期予想 11.2 (対前期比 △5.7 悪化)
- ・採算D I △7.0 (対前期比 18.3 上昇) 次期予想 △8.4 (対前期比 △1.4 悪化)
- ・資金繰りD I 0.0 (対前期比 20.9 好転) 次期予想 △1.5 (対前期比 △1.5 悪化)

#### サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	数値	天気	数値	天気	数値
2023年7月～9月		17.8 		△25.0 		△8.2 
2023年10月～12月		4.2 		△29.6 		△2.8 
2024年1月～3月		△1.5 		△25.3 		△20.9 
2024年4月～6月		16.9 		△7.0 		0.0 
2024年7月～9月 (見通し)		11.2 		△8.4 		△1.5 

### 3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	5.6%	工場建物、生産設備 車両運搬具	13.9%	生産設備、車両運搬具
建設業	8.0%	車両運搬具、OA機器	12.0%	土地、建設機械 OA機器、その他
小売業	13.3%	店舗、車両運搬具 付帯施設、その他	17.8%	店舗、販売設備 車両運搬具、付帯施設 OA機器
サービス業	12.7%	建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他	16.9%	土地、建物、サービス 車両運搬具、付帯施設 OA機器、その他

### 4 経営上の問題

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	28.1%
	2位	生産設備の不足・老朽化	12.5%
		人件費の増加	12.5%
建設業	1位	材料価格の上昇	42.9%
	2位	従業員の確保難	23.8%
小売業	1位	仕入単価の上昇	29.5%
	2位	消費者ニーズの変化	13.6%
	3位	大型店・中型店の進出による競争の激化	11.4%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	40.0%
	2位	従業員の確保難	10.8%
	3位	利用者ニーズの変化	9.2%
人件費以外の経費の増加		9.2%	

# 中小企業景況調査について

## 1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

## 2 調査要領

### (1) 調査対象時期

2024年4月から6月までの第1四半期を対象とし、調査時点は2024年6月1日。





### (2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内177企業。(内訳：製造業36企業、建設業25企業、小売業45企業、サービス業71企業)。

### (3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

令和6年7月12日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041